

2004 年度 WG 活動成果報告

(2005 年 3 月 8 日作成)

WG 名	教育施設 WG	主 査 名：飯野秋成
所属小委員会	環境設計小委員会	主 査 名：三浦昌生
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本 WG は、小学校から大学の講義室および付属施設における熱・光・空気・音環境について、その先端研究のリサーチを進めるとともに、教育施設における環境のあり方を議論することを目的とする。	
委員構成 (委員名(所属))	飯野秋成(主査,新潟工科大学工学部建築学科) 塚本健二(幹事,新潟工科大学大学院工学研究科生産開発工学専攻) 飯野由香利(中央看護専門学校) 岩下 剛(鹿児島大学工学部建築学科) 高橋 央(財)ベターリビング筑波建築試験センター) 北山広樹(九州産業大学工学部建築学科)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
WG 活動状況 (開催日・参加人数)	本年度は、2 回の WG 開催(2004.7.28, 2004.12.14)、および不定期の電子メール上の議論の継続によって、以下の 3 つの活動を進めて成果を上げた。教育施設環境に関する最近の研究事例のレビュー、本 WG の活動支援のためのホームページの開設、本 WG が目指すべき Output に関する議論。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>教育施設環境に関する最近の研究事例のレビュー WG 開催時には、現委員それぞれから、教育施設にかかわる最新の研究事例報告を行ってもらった。教室内外環境の実測調査経験の豊富なメンバーが集まっており、その中で最新の取り組み事例が多く報告された。特に、オープンプランスクールにおける温熱環境や音環境の調査事例、あるいは冷暖房時の大学講義室内の温熱環境や空気質の調査事例などは、空調導入がトレンドとなっている小中学校教室のあり方を考える上で貴重な内容であった。</p> <p>本WG の活動支援のためのホームページの開設 設立主旨、委員構成、会議資料と議事録、および掲示板から構成されるホームページを開設した。本ホームページは委員同士の情報交換の場であるだけでなく、一般の閲覧にも供している。ホームページ開設の成果としては、例えば、小学校の省エネルギーを手がけている研究者からの問い合わせを受けたことをきっかけとして第 2 回WG に参加していただいた方もおられた。有益な情報交換ができ、また来期の委員として加わりたいという積極的な意思確認がなされた。</p> <p>本WG が目指すべきOutput に関する議論 何某かのテキストにまとめて出版、という形で本WG の成果をまとめたいという意向で、既に現委員内に共通認識ができあがっている。これまで、WG のどんな成果を誰にフィードバックするのか、についての議論を重ねてきているが、これまでのところ、「総合的な学習」に注目して教師や児童・生徒に身近な学校環境の調査や測定などを手がけてもらいながら学校環境のあり方を考えさせる、というカリキュラムを提案するのはどうか、という意見が複数の委員から出され、その実現性の議論を続けている。</p> <p>WG の HP アドレス : http://news-sv.ajj.or.jp/kankyos2/educationWG/framepage.htm</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) WG 研究者同士のフリーディスカッションから、新たな研究テーマの掘り起しができた。また、Web による議事録と関係資料の発信、あるいは WG 後の議論の場の提供(電子掲示板)を十分にフォローできる Web づくりを進めた。これは、今後の教育施設環境の研究者ネットワークの礎となる成果になり得る。当初の WG の目標は十分達せられたと考える。
その他評価すべき事項	以上のとおり、本 WG の委員は 6 名という少人数ながら、WG の活動方針を自由な発想で活発に議論している。また、これまでの WG 内の議論を踏まえ、一部のアイデアを現委員構成 + 科研申請することも行った。各委員がそれぞれに構想を膨らませてきたところであるが、その方向性は徐々にまとまりつつあるものと感じている。